

## 目標達成計画

作成日：令和 3 年 9 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	課題としては、世間における新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、ご利用者に安全安心な施設内でお過ごし頂けるように全職員で意識を高めて感染防止の徹底を行って感染者を出さないことが必要である。	施設内で感染者や濃厚接触者を出さないことで安全安心な暮らしを提供することが出来る。	①全職員が感染予防の徹底を行う(手洗い・手指消毒・出勤時検温)②感染マニュアルに応じた感染後対応訓練を2か月に1回行うことで発生時に迅速な対応できる体制を整える③職員行動指針を定めることで外部からウイルスを持ち込まない。	6ヶ月
2		課題は、当施設での強みであった地域とのつきあい(ボランティアや行事)がコロナ禍で交流が非常に少なくなったことである。コロナ終息後は再び地域との付き合いができ、ご利用者が地域といつまでも繋がった暮らしが出来るように行っていく必要がある。	コロナ終息後には、感染拡大前のように地域の皆様との交流が再開され、ご利用者が地域といつまでも繋がった暮らしが出来る。	①地域の回覧板等にて、当施設の情報媒体である『萌つうしん』や『ホームページ内にある萌だより』にて施設内の状況をお伝えし、情報交換を行っていつまでも繋がりを持つ②地域の文化祭などの地域交流の場にて展示物や施設紹介をすることで交流を図る。	12ヶ月
3	13	職員の常勤割合が90%を超える中、介護福祉士は53%、認知症ケア専門士は25%、介護プロフェッショナルキャリア段位0%と取得率は常勤割合と比較すると半分以下と低い現状がある。その為、資格取得により専門知識を高めてケアや技術の向上を図ることで施設としての質を高める必要がある。	施設職員の資格取得を3つの資格(介護福祉士、認知症ケア専門士、介護プロフェッショナルキャリア段位)共に現状以上の取得率を目指し、施設の資質向上を図ることが出来る。	①適宜開催している階層別研修での専門知識の向上を図る。②施設内の資格取得者による資格取得の対策講座の開催する。③取得時の資格手当を交付する。	16ヶ月
4	2				ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。